



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3131 URL <https://www.shinden.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 淳
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田村 祥 TEL 03-3537-0101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,762	2.5	247	8.7	145	—	103	—
2025年3月期第1四半期	9,525	△2.7	227	—	△18	—	△4	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 80百万円 (212.3%) 2025年3月期第1四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	54.94	—
2025年3月期第1四半期	△2.07	—

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	15,511	7,249	46.7	3,845.68
2025年3月期	16,636	7,404	44.5	3,927.90

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,249百万円 2025年3月期 7,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	125.00	125.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	5.6	1,600	14.2	1,200	29.1	800	24.5	424.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(注) 連結範囲の重要な変更には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間においてSDT THAI CO., LTD. は会社清算手続きにより2025年6月に残余財産の分配が完了し、2025年7月に清算決了となったため同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期1Q	2,110,200株	2025年3月期	2,110,200株
2026年3月期1Q	225,081株	2025年3月期	225,039株
2026年3月期1Q	1,885,158株	2025年3月期1Q	1,985,561株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として不透明な外部環境の影響を受け、回復の勢いには鈍さが残る展開となりました。個人消費は、賃上げの効果が徐々に浸透しつつある一方で、物価高の影響により節約志向が根強く、横ばい圏の推移が続いております。また、設備投資は企業の投資意欲の底堅さを背景に増加傾向を維持しており、内需の下支え要因となっています。しかし、米国による関税措置の影響により、輸出環境は厳しさを増しており、先行きに不確実性が残る状況です。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、生成AIやデータセンタ向けの需要拡大を背景に、ロジック半導体や高帯域幅メモリ（HBM）などの分野で堅調な成長が続いているとともに、自動運転や通信インフラの高度化に伴う需要が底堅く推移しております。こうした中、当業界は中長期的な成長期待が高まる一方で、仕入先メーカー主導による国内代理店の再編等、厳しい経営環境となっております。

このような情勢の下、当社グループは、当事業年度を2021年3月期より推進している「収益構造改革」の総仕上げの最終年度と位置づけております。その中で、既存ビジネスの維持拡大のみならず、データセンタやAI（Artificial Intelligence：人工知能）等をはじめとするデジタル・トランスフォーメーション（DX）分野や、グリーン・トランスフォーメーション（GX）に関連する社会的投資の拡大している分野等、成長市場への取組みを積極的に行い、2025年5月12日に公表しました修正中期経営目標（連結経常利益12億円、ROE10%）の達成に努めております。

当第1四半期連結累計期間における販売面は、当初の計画に織込んでいる半導体製品分野の一部ビジネスの商流移管と、従来型メモリの供給制約が足枷となり減少しましたが、ディスプレイ分野とシステム製品分野の伸長により、売上高は増加しました。損益面は、増収効果及び海外子会社において、今後の中国市場におけるビジネスを見据えた運営の効率化を進めたことで売上総利益が増加し、営業利益も連動して増加しました。また、経常損益以下の指標は、第1四半期連結会計期間末時点でドル建て資産と負債のバランス化の促進によって為替差損が圧縮したこと、そして、有利子負債の減少にドル金利の低下が加わり支払利息が減少したため、前年同四半期に対して黒字転換しました。

その結果、売上高は97億62百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は2億47百万円（前年同四半期比8.7%増）、経常利益は1億45百万円（前年同四半期は18百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3百万円（前年同四半期は4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

品目別売上高は、次のとおりであります。

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
半導体製品	6,740,942	70.8	6,047,241	61.9	△10.3
ディスプレイ	1,119,985	11.8	1,850,772	19.0	65.2
システム製品	1,247,026	13.1	1,454,715	14.9	16.7
バッテリー&電力機器	356,838	3.7	338,837	3.5	△5.0
その他	60,312	0.6	71,210	0.7	18.1
合計	9,525,106	100.0	9,762,777	100.0	2.5

（注）当社グループの事業は、半導体製品等の電子部品や電子機器の販売という単一事業であるため、品目別の売上高を記載しております。

・半導体製品分野

当初の計画に織込んでいる一部の車載向けビジネスの商流移管と、従来型メモリの供給制約が主な要因となり、減収となりました。

・ディスプレイ分野

TV及びPC向け液晶モジュールビジネス並びに有機ELビジネスの伸長により、増収となりました。

・システム製品分野

検査等装置向けが堅調に推移したことと、EMS（Electronics Manufacturing Service：製品の開発・生産を受託するサービス）ビジネスの緩やかな回復により、増収となりました。

- ・ バッテリー&電力機器分野

当分野の主力の家庭用E S S (Energy Storage System: 電力貯蔵システム) 向けビジネスが減少したため、減収となりました。

- ・ その他分野

上表のとおり、増収となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

第1四半期連結累計期間は、半導体製品分野の減少が足枷となりましたが、ディスプレイ分野とシステム製品分野の伸長により、売上高は92億36百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。しかし、汎用品のボリュームビジネスを中心に為替相場の円高進行による原価率の上昇によって売上総利益が減少したため、セグメント利益は2億60百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。

(海外)

当第1四半期連結累計期間は、中国向けビジネスの低迷により、売上高は5億25百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。しかし、今後のビジネスを見据えた運営の効率化を図り、セグメント損失は7百万円(前年同四半期は38百万円のセグメント損失)と改善しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

総資産は155億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円(6.8%)減少しました。主な要因は、現金及び預金が14億78百万円(22.4%)減少したことによるものであります。

② 負債

負債は82億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億69百万円(10.5%)減少しました。主な要因は有利子負債が4億89百万円(8.2%)、未払法人税等が2億87百万円(96.7%)、買掛金が2億76百万円(11.2%)減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は72億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円(2.1%)減少しました。主な要因は、利益剰余金が1億32百万円(2.7%)減少したことによるものであります。

④ 経営指標

流動比率は、買掛金、短期借入金、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ16.9ポイント増加し194.8%となりました。自己資本比率は、有利子負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント増加し46.7%となりました。有利子負債対純資産比率は0.8倍となり、前連結会計年度末と同水準となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

従来型メモリ商材の供給制約や日米関税交渉の合意に起因する影響等、当社グループを取り巻く環境に不確実性が残っておりますが、足元のビジネスの状況は、2025年5月12日に公表した2026年3月期の通期業績予想の想定を上回る推移となっております。したがって、当初の業績予想に変更はありません。

引続き業績見通しの精査を行い、開示すべき事項が判明した場合、速やかにお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,591,845	5,113,524
電子記録債権	37,522	50,350
売掛金	7,346,372	7,008,614
商品	2,299,166	2,786,133
その他	200,508	365,255
貸倒引当金	△145,602	△140,621
流動資産合計	16,329,813	15,183,256
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	12,767	11,349
土地	—	5,000
その他（純額）	6,522	11,750
有形固定資産合計	19,289	28,100
無形固定資産		
ソフトウェア	5,678	5,238
権利金	—	70,000
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	6,990	76,550
投資その他の資産		
投資有価証券	25,000	25,000
差入保証金	51,829	51,566
繰延税金資産	187,382	135,482
その他	32,176	26,980
貸倒引当金	△16,449	△15,931
投資その他の資産合計	279,939	223,098
固定資産合計	306,219	327,749
資産合計	16,636,032	15,511,005
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,476,321	2,200,198
短期借入金	5,681,760	4,923,540
1年内返済予定の長期借入金	237,916	94,039
未払法人税等	297,280	9,681
賞与引当金	85,528	35,139
その他	402,484	533,671
流動負債合計	9,181,290	7,796,270
固定負債		
長期借入金	48,803	461,625
その他	1,216	3,549
固定負債合計	50,019	465,175
負債合計	9,231,310	8,261,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,438,519	1,438,519
資本剰余金	1,418,499	1,418,499
利益剰余金	4,901,269	4,769,198
自己株式	△486,414	△486,543
株主資本合計	7,271,873	7,139,674
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	132,848	109,886
その他の包括利益累計額合計	132,848	109,886
純資産合計	7,404,722	7,249,560
負債純資産合計	16,636,032	15,511,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,525,106	9,762,777
売上原価	8,738,649	8,958,950
売上総利益	786,457	803,827
販売費及び一般管理費	558,505	556,093
営業利益	227,951	247,733
営業外収益		
受取利息	576	1,769
償却債権取立益	5,588	—
その他	1,939	180
営業外収益合計	8,104	1,950
営業外費用		
支払利息	128,064	70,620
債権売却損	5,517	7,698
為替差損	119,806	25,823
その他	855	—
営業外費用合計	254,243	104,142
経常利益又は経常損失(△)	△18,187	145,541
特別利益		
関係会社清算益	—	19,455
特別利益合計	—	19,455
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,187	164,996
法人税、住民税及び事業税	520	3,553
法人税等調整額	△14,596	57,868
法人税等合計	△14,076	61,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,111	103,573
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,111	103,573

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△4,111	103,573
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	29,920	△22,962
その他の包括利益合計	29,920	△22,962
四半期包括利益	25,809	80,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,809	80,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,948,894	576,211	9,525,106	—	9,525,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	782,114	73	782,188	△782,188	—
計	9,731,009	576,285	10,307,294	△782,188	9,525,106
セグメント利益又は損失（△）	283,601	△38,102	245,498	△17,546	227,951

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、未実現損益の消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,236,903	525,874	9,762,777	—	9,762,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	380,607	—	380,607	△380,607	—
計	9,617,510	525,874	10,143,385	△380,607	9,762,777
セグメント利益又は損失（△）	260,830	△7,846	252,983	△5,250	247,733

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、未実現損益の消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,618千円	3,093千円